

2010年9月

お客様各位

マースク株式会社
MCCトランスポート事業本部

リーファー貨物お引き受け方針に関するご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、MCC トランスポートでは従来よりさまざまなリーファー貨物をお引き受けしておりますが、お客様の貨物の品質を確保し、また、生鮮貨物をどのように輸送すべきかについてご理解をいただくため、リーファー貨物に関するMCCトランスポートのお引き受け方針を下記にご案内いたします。2010年10月1日より徹底させていただきますので、ご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

記

2010年10月1日より、リーファー貨物の設定のご指定は、「ベンチレーション(換気)」または「設定湿度」のどちらか一方のみ承ります。同時に双方のご指定は承れませんのでご注意ください。詳細は下記ご高覧下さい。

【湿度管理について – 誤解を生じやすいコンセプト】

リーファー貨物の輸送中の品質を守るために必要な条件をもっともよくご存知なのは、その貨物の荷主様です。そのため船社は、ブッキングを承る際に、お船積みの設定について様々な点をうかがいます。しかしながら、弊社のリーファーコンテナに使われている技術についてはこれまでご説明が不足しており、そのために誤解を生じるケースがございました。この機会に以下ご理解いただき、リーファー貨物のお船積みの一助になれば幸いです。

リーファーコンテナ内の湿度管理においては、人工的に加湿をすることはございません。湿度は、貨物(野菜・果物など)の呼吸の経過により自然に生成されます。しかしながら、湿度が制限なく上昇してゆけば、貨物にダメージを与えます。そのため、湿度管理は除湿するために用いられます。湿度管理とは、すなわち除湿機能なのです。また、湿度管理は、換気口が完全に閉じている場合にのみ正確に機能します。

以上のことが「ベンチレーション(換気)」と「設定湿度」が同時にご指定いただけない理由です。

【貨物をフレッシュな状態に保つために】

設定をどちらかひとつにすることに不安感をお持ちになるお客様もおられると思います。しかしながら、今までお引き受けしてきた何千というリーファー貨物の中で、設定をひとつにすることにより問題が生じたケースは全くありません。

お客様の貨物の湿度を適切に管理するためには、MCC トランスポートのリーファーコンテナをお使いいただくことをお勧めいたします。

MCC トランスポートは、今後ともより良いサービスをご提供するべく努力してまいります。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

なにかご不明な点がありましたら、弊社営業部またはカスタマーサービス部までお問い合わせ下さい。

以上